



The 49th Interim Business Report

第49期 中間報告書 2025年1月1日～2025年6月30日

ビーピー・カストロール株式会社



代表取締役社長 平川雅規

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに、ビーピー・カストロール株式会社「第49期 中間報告書」をお届けいたします。

● 当期の概況

当中間会計期間における国内経済は、緩やかな回復基調を維持し個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られま

した。一方、海外ではロシア・ウクライナ戦争に加えてイスラエルとハマスの武力衝突などの地政学的リスクの高まりや米国の通商政策の影響により、先行きは依然として不透明な状況が続いています。

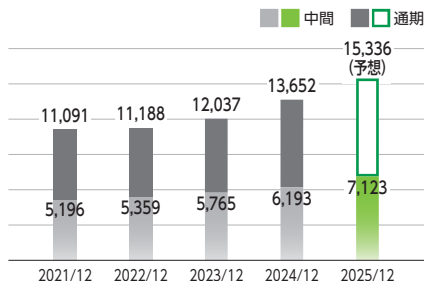
自動車業界におきましては、新車販売台数は前年同期比約10%増加したもののコロナ禍以前の水準には届かず、物価上昇や円安、原材料価格の高止まりにより、厳しい経営環境が続いております。

財務ハイライト

Financial Highlights

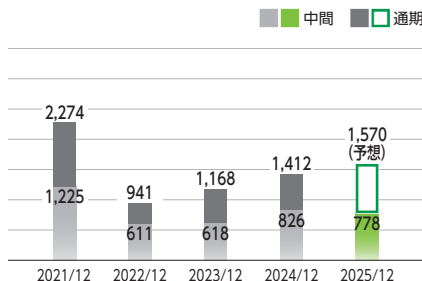
売上高

単位：百万円



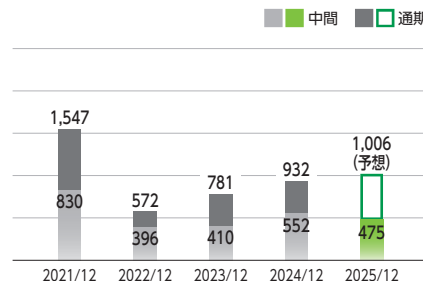
経常利益

単位：百万円



中間純利益

単位：百万円



このような市場環境の下、自動車潤滑油ビジネスにおいては、当期よりホンダワークスチームとのスポンサー契約を開始し、「HRC」のブランドイメージを活用した高付加価値製品の訴求を行いました。加えて、コストパフォーマンスに優れた専売品による新たな販路開拓や、eコマースにおける大容量パッケージの訴求、デジタルチャネルとの連携強化により、販売層及び販売数量の維持・拡大を図りました。

環境対応では「ネットゼロ」コンセプトの訴求を通じて環境問題への取り組みを推進し、加えてプロフェッショナル仕様の多目的潤滑スプレーの販売促進など、エンジンオイル以外の新たな市場・ユーザーへのアプローチにも取り組みました。

コミュニケーション分野では、「カストロールカラー」を活用した国内ラリーチームへの支援や顧客デモカーへのデザイン提供を継続し、ブランドの露出機会の拡大による新規顧客の獲得及び既存顧客との関係強化に努めました。これらの結果、当中間会計期間における業績は財務ハイライトに記載の通りとなりました。

● 今後の見通し

通期の業績見通しについては、地政学リスクの拡大・長期化や米国の通商政策の影響などにより、依然として厳しい事業環境が予測されます。

当社といたしましては、価格に敏感な市場環境に対応しつつ、ブランド愛好者の獲得と定着、高付加価値ブランドの

拡大、新たな需要の創出を通じて、当社事業の持続的な成長を目指してまいります。

下半期には世界最高峰の二輪レース「MotoGP」や世界ラリー選手権など、カストロールがスポンサーするチームが参戦する国際的イベントを活用し、ブランド認知の向上と顧客との関係強化を図ってまいります。

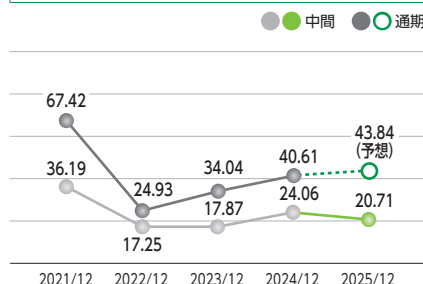
販売面では、当期の概況でご説明した各種施策を下半期も継続的かつ着実に実行すると共に、原価低減策やデジタルトランスフォーメーションを含む業務効率化も推進してまいります。

これら取り組みにより、通期業績予想は売上高15,336百万円、営業利益1,488百万円、経常利益1,570百万円、当期純利益1,006百万円を見込んでおります。

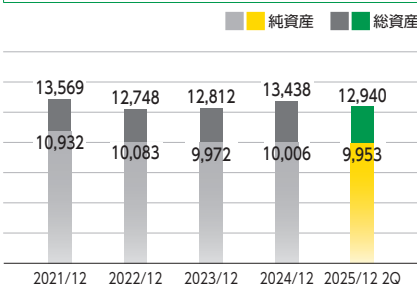
株主の皆様には、今後とも「Castrol」及び「BP」ブランドへのご愛顧と、当社へのより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ビーピー・カストロール株式会社
代表取締役社長 平川 雅規

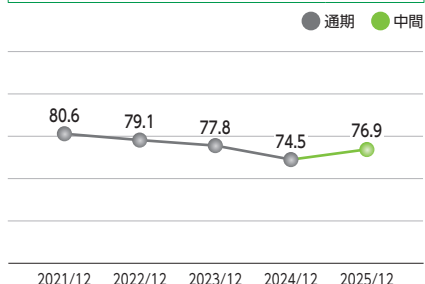
1株当たり純利益 単位：円



純資産／総資産 単位：百万円



自己資本比率 単位：%



ブランド資産を活かした認知拡大への挑戦

カストロールカラーが彩る日本のモータースポーツ

カストロールは、長年にわたり世界中のモータースポーツシーンで親しまれてきた“カストロールカラー”をブランド資産として戦略的に活用し、ブランド認知のさらなる向上に取り組んでいます。

2024年の「Rally Japan」では、英国のラリーチームを特別招待し、カストロールカラーを纏ったマシンが国内レースに登場しました。この取り組みは、視認性の高いデザインと歴史的背景を持つカストロールカラーが、ラリーファンや若年層を含む幅広い層に強い印象を与え、大きな反響を呼びました。SNSやメディアでも多く取り上げられ、ブランドの存在感を再認識する機会となりました。

この成功を受け、2025年シーズンでは、全日本ラリー選手権及び全日本ダートトライアル選手権に参戦する複数のチームに対し、カストロールカラーを施したマシンの支援を開始。これにより、国内のモータースポーツファンとの接点をさらに広げ、ブランドの視認性と親近感を高めることを目指しています。

さらに、2025年には、約40年ぶりにMotoGPにおけるホンダのワークスチーム「HRC」へのグローバルスポンサーとして復帰。この協業は、カストロールとホンダという両ブランドの歴史的な絆を再確認する象徴的な出来事であり、世界中のオートバイファンからも大きな注目を集めました。MotoGPという世界最高峰の舞台で、カストロールカラーが再び走る姿は、ブランドのグローバルな価値と信頼性を強く印象づけています。

これらの取り組みにより、国内外のレースイベントにおいて、カストロールのロゴとカラーが広く露出。現地観戦者だけでなく、テレビ・Web・SNSなど各種メディアを通じて、より多くの方々にブランドの存在感を届けることができています。視覚的なインパクトとともに、ブランドの歴史や技術力への共感を生み出し、お客様とのエンゲージメント強化にもつながっています。

カストロールは今後も、モータースポーツを通じてブランド価値の向上を図るとともに、製品の魅力をより多くの方々に伝える活動を継続してまいります。ブランドの象徴である“カストロールカラー”を軸に、国内外のレースシーンでのさらなる展開を目指し、ファンとの絆を深めていきます。



プロモーション情報 春の需要期におけるカストロール エッジ プロモーション

プレミアムブランドの価値を伝える店頭施策

人々の活動が活発になる春の需要期に合わせ、カーショップチャネルにおいて、当社の最上位エンジンオイルブランドである「カストロール エッジ」に焦点を当てた店頭プロモーションを実施いたしました。

本施策では、「カストロール エッジ」のユーザー拡大を目的に、オリジナルデザインの人気アイテムを景品として採用。対象商品をご購入いただいたお客様全員にプレゼントする仕組みにより、新規トライアルの促進とリピート購入の喚起を図りました。

さらに、エンジン内部の洗浄に効果的な「エンジンシャンプー」も対象商品に加えることで、“プラス一品”の提案による客単価の向上にも貢献しました。

市場全体が減少傾向にある中においても、エンジンオイル市場におけるプレミアムポジションを維持すべく、“カストロール エッジ”の積極的な訴求を継続してまいります。今後も、エンジンオイルに対する意識が薄いユーザー層への認知拡大を図り、市場の活性化と当社ビジネスの持続的な成長を目指して取り組んでまいります。



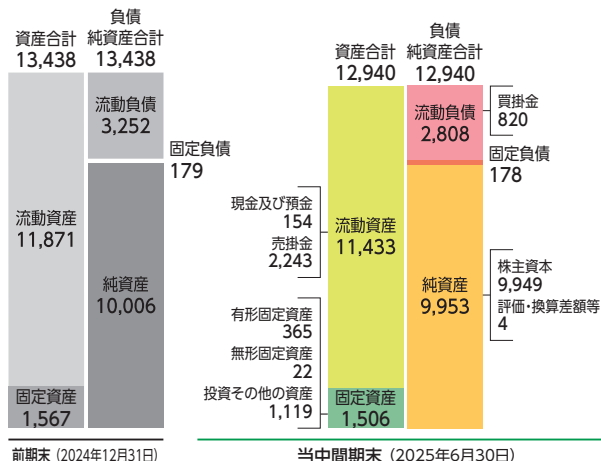
財務諸表

Financial Statements

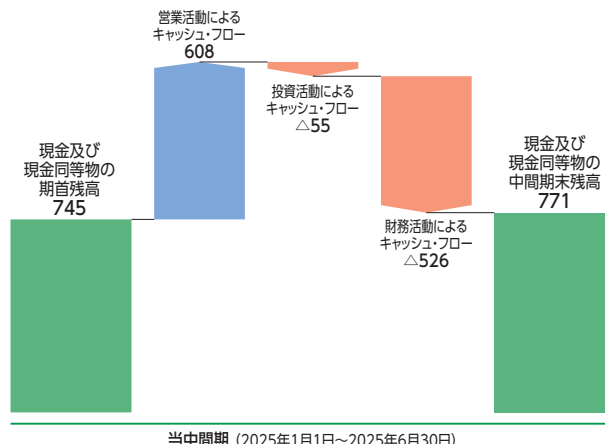
The 49th Interim Business Report

● 単位: 百万円、百万円未満切り捨て

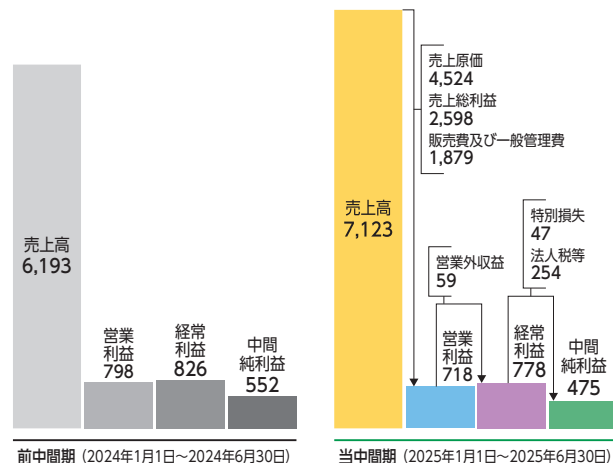
貸借対照表の概要



キャッシュ・フロー計算書の概要



損益計算書の概要



●売上高

ホンダワークスチームとのスポンサー契約を開始し、「HRC」のブランドイメージを活用した高付加価値製品の訴求を行いました。加えて、コストパフォーマンスに優れた専売品による新たな販路開拓や、eコマースにおける大容量パッケージの訴求、デジタルチャネルとの連携強化により、販売層及び販売数量の維持・拡大を目指した活動により、売上高は7,123百万円となりました。

●純資産

純資産の残高は、9,953百万円(前事業年度末は10,006百万円)となり、53百万円減少いたしました。これは、主に利益剰余金が中間純利益により475百万円増加し、剰余金の配当により528百万円減少したことによるものです。

●営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、608百万円(前中間期比38百万円の増加)となりました。これは、主に税引前中間純利益が730百万円、減価償却費の計上が60百万円であり、また売上債権の減少895百万円及びその他の負債の増加200百万円により資金が増加した一方、棚卸資産の増加390百万円、仕入債務の減少248百万円、未払金の減少319百万円、賞与引当金の減少91百万円及び法人税等の支払額242百万円により資金が減少したことによるものであります。

会社情報・株式情報

Corporate Data & Stock Information

● 2025年6月30日現在

会社の概況

商号	ビーピー・カストロール株式会社
本社	〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー20階 TEL:03-5719-6000(代)
設立	1978年9月
事業内容	英国の石油会社BP p.l.c.が持つCastrolブランド 及びbpブランドの自動車用潤滑油を日本市場に 合わせて製造・販売
資本金	14億91百万円
従業員数	80名(17名) (注)臨時従業員数は、()内に年間の平均人数を外数で記載 しております。
子会社	カストロール株式会社 ビーピー・ルブリカンツ株式会社

役員

代表取締役社長	平川 雅規 カストロール株式会社代表取締役社長兼務 ビーピー・ルブリカンツ株式会社代表取締役社長兼務
取締役副社長	阿部 宏憲
取締役	田中 正子
取締役(社外、監査等委員)	栗井 佐知子
取締役(社外、監査等委員)	望月 文夫
取締役(社外、監査等委員)	福山 靖子

株式の概況

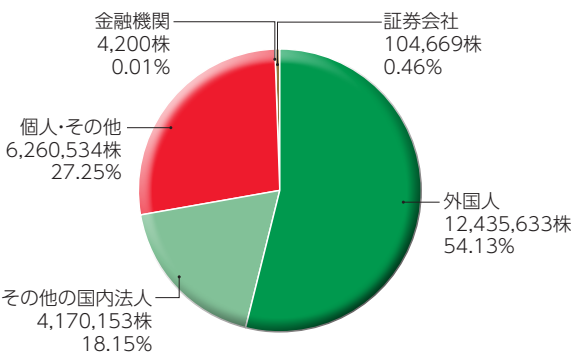
発行可能株式総数	118,000,000株
発行済株式の総数	22,975,189株
株主数	10,633名

大株主の状況

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
カストロール・リミテッド	12,234,273	53.29
ティー・ジェイ株式会社	2,661,748	11.59
日本自動車整備商工組合連合会	1,144,512	4.99
三島 泰	112,000	0.49
小津 恒子	110,000	0.48
中外油化学工業株式会社	61,000	0.27
松浦 寛	57,700	0.25
株式会社JSCreation	55,000	0.24
長妻 和男	50,000	0.22
高嶋 博	50,000	0.22

(注)出資比率は、自己株式17,474株を控除して計算しています。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで	
定時株主総会	毎年3月	
基準日	定時株主総会	12月31日
	期末配当金	12月31日
	中間配当金	6月30日
公告方法	電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。	
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	
郵便物送付先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号（〒168-0063） 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	
（電話照会先）	電話0120-782-031（フリーダイヤル） 受付時間 9：00～17：00（土日休日を除く） https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/	

●住所変更、単元未満株式の買取、配当金の受取方法のご指定等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株式等に関するマイナンバーのお届出のお願い

- 株式等の税務関係のお手続きに関しては、マイナンバーのお届出が必要です。
- お届出が済んでいない株主さまは、お取引のある証券会社等へマイナンバーのお届出をお願いします。

お届出が済んでいない株主さまは、お早めにお手続きください。

マイナンバーの取扱いについて

- マイナンバーの取扱いは厳格な安全管理措置が設けられており、利用範囲は社会保障・税・災害対策の行政手続きに限定されています。
- 法令で定められた目的以外でマイナンバーを使用することや他人にマイナンバーを提供することは禁じられています。

マイナンバー制度について

- マイナンバー（社会保障・税番号制度）ホームページ
<https://www.cao.go.jp/bangouseido/>
- マイナンバー総合フリーダイヤル

 **0120-95-0178**



マイナンバーのお届出およびお問い合わせ先について

<上場会社の株式等をお持ちの株主さま>

証券会社等にて株式等を管理・購入・取引されている場合は、証券会社等へお届出をお願いします。
お手続きなど詳細につきましては、お取引のある証券会社等までお問い合わせください。

三井住友信託銀行株式会社
証券代行部

 **0120-782-031**

ビーピー・カストロール株式会社

本社 IR担当 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー20階
TEL:03-5719-6000(代)
URL:<http://www.bpcastrol.com>

証券コード 5015



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用し、環境に優しい植物油インキで印刷
するとともに、針金を使わない「ECO綴じ」製本を採用しています。